道新聞
「北海道新聞」3種郵便物認可 2017.8.6

水耕野菜工場を新設

フリルレタスなど生産

障害者就労支援の稚内市北光園

社福事業団施設に販売

【稚内】社会福祉法人稚内市社会福祉事業団は、障害者の就労継続支援B型事業所「稚内市北光園」（富士見5）に水耕栽培の野菜工場を新設し、フリルレタスなど葉物野菜の栽培を始めた。工場名は「最北の野菜工場ひかり菜」。従来のクリーニング事業に野菜生産の業務も加え、障害者雇用の場を広げる。

（岩崎志帆）

同園は障害者の自立を支援する事業所で、施設の空きスペースだった約350平方㍍を改装した。高さ約2㍍、奥行き約1・5㍍、幅約4・1㍍の生産棚2台を設置。発光ダイオード（LED）と水、液肥を使い、害虫や天候に左右されず無農薬の野菜を育てることができる。

育てるのはフリルレタスとグリーンリーフの2種。2台で1日最大で計152株を生産できる。種まきや育った苗の移し替え、収穫、包装などの作業を同園の利用者と職員の計5人で担当する。

収穫した野菜は同法人の施設に販売し、利用者に提供する。

同園の定員は40人。身体障害者授産施設として開園した1983年からクリーニング業を手掛け、心身に障害のある人に就労の場を提供してきた。これからは野菜工場の作業も合わせて、適性に応じた作業に就くことができるようにする。

初めての収穫は10月上旬を予定している。同法人の満保和吉常務理事は「事業を2本立てにすることで、利用者の就労意欲と賃金の向上につなげたい」と話す。今後、生産状況などを見て販路の拡大や施設の拡張も検討するという。

稚内市北光園内に設置された野菜の生産棚

ルルロッソ」でパン作り

【小平】留萌管内産小麦粉「ルルロッソ」を使った加工実習教室が町内の「ゆうゆうそう」で開かれ、遠別農業高の生徒7人がパン作りに挑戦した。

地元産ルルロッソのPRに取り組む留萌振興局が主催し、8月28日に開かれた。町内の農業者らでつくる住吉寧楽婦人部のメンバーたちが講師を務め、食パンや菓子パンを作った。

遠別農業高の食品コースで学

新組合長に荒木氏

役員総辞職の利尻漁協

荒木一雄氏

【利尻富士、利尻】全役員が7月に総辞職していた利尻漁協の新組合長に荒木一雄氏（64）が8日、利尻島内4漁協が合併して利尻漁協となるまで、鳥甲漁

らず、必要な手続きをしなかった責任を取り、全役員が7月に総辞職していた。

荒木氏は旧鴛泊村（現利尻富士町）出身。08年に利尻島内4漁協が合併して利

旭川―稚内 315キロ

JR旭川駅
宗谷岬までの
日間で巡るサ
アー「テッペ